

# 観音寺中学校 道徳通信 5月号

新年度がスタートし、1ヶ月が経ちました。5月は、中間テストや体育大会があり、慌ただしい日々が続きますが、時には立ち止まってみたり振り返ってみたりしてもいいかもしれませんね。

今回は、4月に実施した3年生の授業をご紹介します。

「がんばれ おまえ」 【内容項目】向上心、個性の伸長

少年は、高校に入学すると人気者となる。しかし、そんな少年は中学時代にいじめられてつらい思いをし、今は「おもしろいやつ」を演じているのだった。少年は、みんなと別れ一人になると、ぐったりと疲れ切ってしまう。同級生の少女を好きになると、そんな面も含めた自分自身を知ってほしいと思うようになり…。

## 授業の感想（生徒記述より）



この話の主人公と重なる部分が多かったし、頑張ってる自分が嫌になることもありました。でも、どちらも本当の自分であると思うから、バランスよく表の自分も裏の自分も表現して、自分について知っていきたくと思いました。

恥ずかしかったり、嫌われたくないと思って隠す時もたまにはあったけど、これからは本当の自分である時と、演じている自分である時、どちらも大切にしていきたい。

自分もこれから高校に入る時にもう一つの自分ができてしまうかもしれないけど、別に悪いことじゃないと考えて、二つの自分を大切にしていきたい。新しい場所でも頑張りたい。

私も二面性があると思うけど、どっちがどっちは分からず、同じ人を相手でもどちらも出したりするから難しいなと思いました。「自分」のことを考えることも大切だと思うけど、他の人の別の一面でもちゃんと認めていきたいなと思います。

新学期でとてもドキドキしていて、どうやって友達に関わっていこうか悩んで疲れていたけど、こういう時こそ、本当の自分を大切に頑張っていきたいと思った。人見知りな自分を否定し続けるのではなくて、自分として受け入れ肯定してプラスに過ごしていきたい。

少年の気持ちはすごく分かるし、すごく疲れるのも分かる。本当の自分を隠しているのは自分だけではないのだとも分かった。別に本当の自分を少し出してもいいかなと思った。

本当の自分をさらけ出せる友達や家族がいてよかったと思う。自分も演じる時はあるけれど、それも自分だと認めているのが自分らしいなとも思う。時々、自分を見つめ直してメンテナンスをしたい。

なりたい自分と本当の自分は違う。なりたい自分になろうとして本当の自分が傷ついていくのはだめだと思うので、どちらの自分も大切にしたい。

## 道徳通信 4月号の返信より

- 考え方や価値観の違う人たちとの出会いを大切に、様々なことに関心を持ち、チャレンジしてほしいと思います。また、チャレンジや経験を通し、成長し続けることができる環境作りも大切にしたいです。
- 子供に道徳を促すように親にも学んで欲しい事だと思っています。人を呼ばずとも、参観後の学級 PTA 辺りで、自分の子供が他人の子供に対してどんな風に接しているのか、親にも、気づきを与える機会は必要かと。私の娘は小学6年の頃に容姿と趣味や話し方が気持ち悪いと言われ、娘の友達にも仲間外れを促されていました。一定の子供達から、これが酷くなれば命をたってしまう可能性もあるわけで、その前に、手を打つ事は大事なんじゃないかと思いました。幸い仲間外れにもならず、中学ではクラスも離れたので、安心した学校ライフを満喫していますが、思春期、反抗期の言い訳では逃れられない事も親には知って欲しいし、子育てにおいては慎重に子供の事を考え向き合っ欲しいとも思っています。
- 新たな環境・人間関係に慣れていくことは、大人である私たちでも大変なことです。幼稚園が同じだった友だちもいますが、6年も違う環境・友だちと過ごしてきて、お互い成長しての久々の再会は、またお互いを知ってもらう、知ろうとするとところから始まるので、不安や恥ずかしさが入り混じった複雑な心持ちなのではないかと思っています。自分のペースでいい、先生方・親・友だち、みんなが支えてくれている、大丈夫！と子どもたちが思えるよう、温かい眼差し、愛情で寄り添い見守っていかないと改めて感じました。
- 道徳は心を育てる大変大切な学びだと思っています。家庭環境で伝えていくのが本来かと思いますが、共働きなどで子どもとの時間が減っているご家庭も多く、親の背中で魅せることが難しくなっていますね。親自身が徳を積むことを心がけ、学校と共に子どもたちの心を育てる導きができたらと思います。今後とも宜しくお願いします。
- 大人になっても人との付き合い方は難しいですが中学になって不安もあると思いますが、新しい友人や先輩達と色々な形で交わって学んでいって欲しいです。
- 道徳通信を通して、中学生の様々な考えを知ることができることを期待しています。
- 4月から入学し、新しい友達や先輩などとの出会い、付き合い方に少し不安な気持ちや嬉しかった気持ちなどあるようです。道徳を通じて多感な中学生の時期にいろいろなことを感じてほしいです。

ご返信、ありがとうございました♪

ご感想やご意見がございましたら、LEBER（リーバー）のアンケート「返信欄」にてお気軽にご回答ください。たくさんのご返信をお待ちしております。